

職員による自己評価

- A 環境面
 - ・ 支援スペースと静養室の活用。
 - ・ みんなで楽しく過ごすスペースと自分のペースでゆっくり過ごすスペースを使い分けている。
 - B 児童への支援内容
 - ・ 朝のミーティングだ共有している。
 - ・ 平日はほぼ室内で過ごしている。
 - C 関係機関との連携
 - ・ 連絡会に参加し情報交換や支援相談員と密に連絡をとっている。
 - D 保護者への説明責任・信頼関係
 - ・ 保護者への説明責任・信頼関係。連絡ノートや送迎時に日々の様子や予定を伝えている
 - E 非常対応
 - ・ 避難訓練は年1回実施している。
- 雪や台風などの急な休校などの対応を行っている。

保護者による評価

- A 環境面
 - ・ 比較的身体の大きい子どもが多くスペース的に広さを感じない。
- B 児童への支援内容
 - ・ 外出が休校日や土曜日となっている。
 - ・ 連絡ノートや送迎時に様子を伝えてくれている。
- C 事業所からの情報発信
 - ・ 連絡ノートや送迎時に活動内容や様子を報告してくれている。
- D 非常対応
 - ・ いつもと様子が違うときなどは連絡をしてくれている。
 - ・ 家庭の都合によく合わせてくれている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 連絡ノートや送迎時に子どもの様子や活動内容を報告することで情報共有を行えている。
- ・ それぞれの子どもに合った活動ができている。休校日は外出を子ども・ご家族ともに楽しみにされている。

【相違点】

- ・ 比較的身体の大きい子どもが多く、少し圧迫感を感じることもある。
- ・ 保護者会や交流会は現在ない。以前はあったが中心となってやってくれるご家族がいなくなりました。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・連絡ノート・メール・送迎時のご家族とのコミュニケーション
- ・登校日はゆっくり過ごす。休校日は外出に外出に連れて行ってほしい保護者の要望に合っている。
- ・ひとりひとりに合った支援の展開

事業所の改善点

- ・支援スペースと静養室のより良い活用の検討。
- ・保護者会や交流会開催の検討。

事業所の改善への取り組み

- ・支援スペースと静養室のレイアウト・ツール・置き場所などの変更。
- ・保護者会・交流会開催の検討。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回の自己評価を行った事で、ご家族の要望と事業所の方針はほぼ一致していることが確認できました。今まで以上に子どもやご家族に寄り添う活動をしていきたいと思いました。

事業所名 フレンズ藤沢 _____

担当者 奥村光二
